

ズットナー女史没後 100 周年を迎えて

—— 成果 (結果) = 能力 (0 ~ 100) × 熱意 (0 ~ 100) × 考え方 (−∞ ~ 0 ~ +∞) ——

小松昭夫

皆様こんにちは。

人間自然科学研究所の理事長小松昭夫と申します。

今日、ベルタ・フォン・ズットナー女史没後 100 周年を記念する意味深い場所で、彼女を尊敬する皆様とお会いし、ズットナー女史の平和活動の意義を共有できることを嬉しく思います。

先ほどの動画でご紹介させていただきましたが、

人間自然科学研究所は、人類の特性と歴史を考察し、「積極的平和主義」に徹し、20 年の歳月をかけ、人類進化に至る対立・統合・発展が循環する「和の文化」を生み出すため、世界の戦争・平和記念館を訪問、民間外交を重ねてきました。

1945 年 7 月 29 日、日本「ポツダム宣言」黙殺と報道、8 月 6 日広島、9 日長崎に人類史上初めて原爆投下、9 月 2 日ミズーリ号での調印により、イタリア、ドイツに続いて日本の「敗戦」が確定、人類史上例のない被害をもたらした第 2 次世界大戦が終わりました。

日本は天皇放送が行われた 8 月 15 日を「終戦」記念日と定め、今日に至っています。この「終戦」という言葉を積極的に生かし、「人類社会の戦争を終わらせるさきがけを務める国家」と定義づければ、日本から世界恒久平和への道筋を示せると確信しています。

100 年以上前に世界大戦の勃発を予測し、小説『武器を捨てよ！』で戦争阻止を世界に訴え、空爆により人類が破滅に至ることを『空の野蛮化』で警告、欧米を中心に平和活動を展開し、ノーベルに平和賞創設を進言、女性初のノーベル平和賞 (5 番目) を受賞したベルタ・フォン・ズットナー女史。この志を現代に蘇らせることが、私たちに求められています。

アンドリュー・カーネギーの寄付によりオランダ・ハーグ市に建設された「平和宮」(国際司法裁判所)

100 周年を記念して、2013 年、イングリッド・ロレマさん制作のズットナー女史の彫刻像が建立されました。その除幕式に参列し、ロレマさんのお人柄と、深遠な念いの伝わる像に魅了されました。関係者の方々の協力を得て、本日、ズットナー女史が亡くなったこの地で、その 2 号像を没後 100 周年を記念して披露させていただくことができました。この街で展示された後、日本に移し、これまでズットナー女史を知らない日本人に広く紹介させていただきます。

今回の展示をきっかけに、強く平和を希求する人々によって、ズットナー像が世界各地に次々と建立され、ズットナーの志が蘇り、平和活動の資金が生まれ、確かな平和への流れが始まることを願っています。

私が生まれ育ち、42 年前に創業した会社の所在地でもある、日本国島根県は、核の脅威が迫る朝鮮半島の対岸に位置し、日本最大の原子力発電所があります。島根県は、2005 年に韓国と日本の中間に位置する竹島 (韓国名独島) に対し、領土権の早期確立を目指した運動を推進する目的で「竹島の日」を制定しましたが、このことが今日の東アジアの海・島をめぐる紛争の引き金になりました。

1907 年、第 2 回万国平和会議に大韓帝国使者として派遣された李儁 (リジュン) 烈士死去、1910 年日本

の韓国併合、1914年ベルタ・フォン・ズットナー死去、第1次世界大戦勃発。私はこれらの経緯と現在の世界情勢を日本で受け止め、2014年6月17日、オーストリア・ウィーンから、構想と提言を発表いたします。

構想とは、「国民国連・国際平和センター」です。

現在の国連は、1945年2月のヤルタ会談で合意され、常任理事国5か国を含む大国主導で運営、193カ国の「政府代表」で構成され、時には正義を掲げ武力を行使しています。「国民国連」は、人類の特性と歴史的経緯を生かし、論理的討議を通じて、長い時間軸で道理を実現するストーリーを生み出す、「国民代表」で構成される集団です。

また、「国際平和センター」は、対立が続く日本の沖縄の人類史から見た地政学的な意味を研究する中から生まれました。人類の未来を拓く「誓いの施設」として同センターを創設し、「世界恒久平和発祥の島」とする構想です。

これは、次の主要3施設により構成されます。

- (1) 世界の戦争と平和関連博物館を情報通信技術（ICT）で結び、各施設の資料と写真・映像を総合的に扱い、世界に配信する「世界戦争平和映像センター」。
- (2) 世界中から近代の戦争の全戦没者電子データを集め、永遠に記録、閲覧できる「メモリアルタワー」
- (3) 最先端の科学技術とICTを生かし、平和会議、平和貢献者への顕彰、「知のオリンピック」などを開催し、「和の文化」を生み出す「和の殿堂」。

そして提言とは、米国・露国・中国の三大核大国の結節点、朝鮮半島と日本列島を三大核大国の積極的支持を得て非核化し、「和の文化」発祥地とすることと、すべての核保有国の段階的な核削減の同時スタートの提言です。

今から300年前、私の故郷、出雲国日吉村（現・島根県松江市八雲町）の周藤彌兵衛翁は、私財を投じ、56歳から97歳まで42年をかけて、硬い安山岩の霊山・剣山（つるぎさん）をノミと槌で切り崩し、切通しを完成、洪水を繰り返す川の流れを変え、村人を救い、102歳で大往生されました。

ズットナー女史と同様に志を貫いた周藤翁の生涯を描いた小説『悠久の河』を日本水道新聞に2014年7月から連載し、その後、日英韓中露の5か国語で出版を予定しています。また、ズットナー像と同時期に、中国山東省（1937年国共合作の地）で翁の大銅像を制作、8月1日「水の日」に、八雲町に建立します。

ギリシャ生まれのラフカディオ・ハーンが、明治時代、初めて欧米に日本文化を紹介した『知られざる日本の面影』は、彼が島根県松江市に住んだ時の体験を元にして書いた作品です。

そして今、小説『悠久の河』が生まれたこの地域を「和の文化」創造の原点に、情報通信技術（ICT）を用いて「世界の水と平和」のストーリーを描くことにより、提言、構想の具現化に向け、急速な流れが始まることを念じています。

ご清聴ありがとうございました。

クラウドのさがけー総合水管理システム「やくも**水神**」ー6月1日電波の日、8月1日水の日、8月11日山の日



小松電機産業株式会社
KOMATSU ELECTRIC INDUSTRY CO.,LTD.
〒690-0046 島根県松江市乃木福富町 735-188
TEL 050-3161-2490 FAX 050-3161-3846
<http://www.komatsuelec.co.jp/>

人間自然科学研究所 ホームページ
<http://www.hns.gr.jp/>

